

子どもたちが輝く 新たな環境づくり

「地域クラブ活動」で広がる多様な活動の可能性

全国的に少子化が進み、学校部活動のあり方が変化しています。

令和5年度の市内の生徒数は528人(12月1日現在)ですが、今後10年間で約4割の減少が見込まれています。

市内の部活動において、団体競技では、規定の選手数を確保することが困難になり、学校単独では大会へ参加できなかったり、個人競技では、部員が極端に少なくなり、活動そのものが維持できなくなったりする状況が生じています。そのため、部活動の選択肢が減ってきています。

また、生徒数が減少することで、学校に配置される教員の数も減り、部活動の顧問として活動できる教員の数が制限され、1人あたりの負担も大きくなっているのが現状です。働き方改革の流れとあわせて、教員主体のサポート体制の見直しも強く求められており、部活動を学校だけで維持することが困難になっています。

しかし、生徒の希望がかなわず、自主性や意欲を削いでしまうのは、部活動本来の姿ではありません。そこで国は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(令和4年12月)」を策定しました。これまでの学校部活動を、新たに地域全体で維持運営する「地域クラブ活動」へ移行することについて示されており、その体制などについて各自治体で検討するように求めています。

飛騨市では、保護者や地域の皆さんと一緒に考え実践することで、子どもたちの希望にかなう多様な活動を守るとともに、新しい選択肢も提示できるよう、学校の枠組みを超えて地域と連携し、従来の部活動をさらに進化させた「地域クラブ活動」の実現に向けて取り組みを始めています。



— 「地域クラブ活動」とは? —

これまでの学校部活動は、主に各学校を活動場所として教員が顧問となり運営や指導の中心を担ってきました。

地域クラブ活動は、地域クラブの運営や指導について地域の団体や保護者など、地域の皆さんが主体となって活動を行います。新たな仕組みをつくることで、学校や行政も含めた地域全体で、学校部活動から地域クラブ活動への移行を支え、子どもたちが輝く持続可能な新たな環境を整えようというものです。

学校部活動

- ・学校が主体(学校教育)
- ・教員が顧問として主に運営や指導をする
- ・原則、学校の施設で活動
- ・合同部活動の場合、各校の部が集まって活動

地域クラブ活動

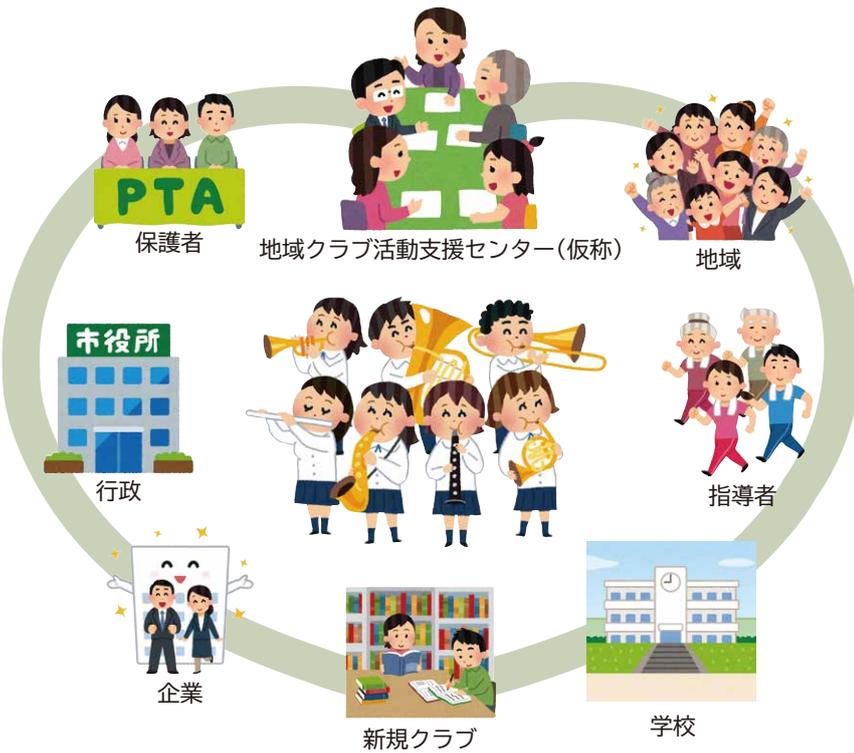
- ・地域が主体(社会教育)
- ・地域の団体や地域人材、保護者を中心に運営。研修を受けた指導者が指導する
- ・学校の施設の他、地域の公民館や民間の体育施設などで活動
- ・地域クラブ活動に生徒が集まって活動



古川中と神岡中、北條中の生徒が合同でサッカーの練習をしています



古川中と神岡中の吹奏楽部合同練習の様子



地域クラブ活動支援センター(仮称)が環境づくりをサポートします

学校部活動の地域移行や、地域クラブ活動を持続可能な形にするためには、さまざまな面でサポートをする中心となる組織が必要となります。

飛騨市では、地域の団体や行政、民間のコーディネーターなどが連携し「地域クラブ活動支援センター(仮称)」を立ち上げ、核となって環境づくりを進めていく準備をしています。

クラブ団体・指導者や学校などと連携して運営補助や事務代行、活動の広報を行ったり、市や企業などとも連携し、活動の助成や補助金の交付、指導者の派遣などを行ったりして、生徒や保護者、各種団体の活動をサポートしていく予定です。

令和8年度中には完全移行を目指します

各団体で抱えるさまざまな課題をていねいに拾い上げ、地域団体の皆さんや保護者、行政などが協議を重ね、さまざまな意見やアイデアをいただきながら活動を具体化していきます。まずはできそうなところから実証を行い、徐々に部活動の地域移行を進めていく予定です。

令和5年度中は「検討期」として、まずは各団体で検討を行い、移行可能な団体から試行を始めています。平日は学校部活動、土・日だけは地域クラブ活動を行うなど、さまざまな形で課題を探っているところです。

令和6～7年度は「移行期」と定め、実証を重ね地域クラブ活動へと段階的に移行を進めていく予定です。

そして、令和8年度中には学校部活動を廃止し、地域クラブ活動への完全移行を目指します。

子どもの可能性を広げる新たな選択肢をつくります

これまでの学校部活動を単に地域クラブ活動に移行するだけでなく、子どもたちの可能性を広げるという意味で「新たな地域クラブ活動」も検討していく予定です。

例えば、祭り文化の研究や地域の歴史探究、まちづくりに関する活動、将来をみすえた職業体験や海外との交流なども考えられます。そして地域には、そうした活動を長年続けられている人材が数多くいます。今後、指導者としてご活躍いただく形も考えられそうです。



さまざまな意見やアイデアをもとに、「地域クラブ活動」の形を模索します

現在、円滑に地域移行を進めるため、市の学校部活動の現状や地域クラブ活動の仕組みについての説明会や、各団体の事情に応じた意見をうかがう相談会を、教員や地域、各種団体に向けて実施しているところです。

また、令和6年度から「地域クラブ活動実証事業」を開始します。理想的な活動体制の構築や、整備内容や補助内容の検証のために実証を行うもので、現在実証を希望する団体を募集しています。応募にはいくつかの条件がありますので、わからないことや質問があればお問い合わせください。なお、申し込み期限は令和6年1月26日(金)です。

今後さまざまな団体や保護者、地域の皆さんから意見をうかがい、子どもたちが主役として活躍できる活動を目指します。ぜひ多くの意見、アイデアをお寄せください。

問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494